

## 令和3年度 第1回 市長と語る車座ミーティング（意見交換概要）

【開催日時】 令和3年10月13日（水）午後1時30分～午後3時00分

【開催場所】 本庁舎2階 第3委員会室

【申込団体】 東御市男女共同参画推進委員会

【参加者数】 9名（市長、市職員を除く。）

【懇談テーマ】 市長が考える男女共同参画について



※議事については、主な内容を抜粋して掲載しております。

個人のプライバシーに関する部分などについては、一部内容を割愛しております。また、意見交換の内容は開催日時点のものであり、現在の状況と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

### 【概要】

#### （市長）

市役所の女性の登用に関して言いますと、入庁時から自分の能力を高めて管理職になることを想定している方と、想定していない方がいます。能力のあるものが、市民のために能力を発揮するのが一番良いと思います。年齢を重ね、経験と能力を身につけ、市への貢献度が上がった中、同じ能力なら女性を引き上げたい気持ちと、抜かれた男性をどうするかが課題だと思っています。管理職になると下と上の板挟みになり退職してしまうケースもあり

ます。女性に、社会も理事者も上に上がることを希望していることを自覚して貰えるかが課題だと思います。

(会員)

管理職になれなかった男性職員を傷つけることもあるかもしれませんが、しっかりした数字目標をもって、男女共同参画を推進してほしいです。

(会員)

正規職員の一部の管理職の女性割合を男女共同参画の指標にするより、正規・非正規問わず、職員の意見を聞いてくみ上げる職場を考えてもらいたいです。

(会員)

管理職割合が「県で○番目」など数値に動かされるより、市民が暮らしやすく輝く社会を作ることが根本だと思います。男性も女性も正規も非正規も育児休暇などそれぞれの主張が出来て男女共同参画に結び付くと思います。

(会員)

それでも女性管理職が少ないと、政策決定の場に女性が少なくなり、女性の意見が上がってこないと思います。

(市長)

管理職が政策決定をしていくという男性が作ったシステムの中で、管理職の女性が○人という指標が、男女共同参画の指標となっています。男性のつくったヒエラルキー（ピラミッド型の段階的組織構造）に女性が多く入って、男性が作り上げた権能を使って輝いていくことも1つの方法だと考えます。

非正規職員については、3年前に臨時職員から会計年度任用職員に職員体系が変わったので、これから制度や体系を検証していかなければならないと思います。

(会員)

市役所での男性職員の育児休暇取得の状況はどうですか。

(職員)

令和2年度、対象者9人中、育児休業取得は0人です。他の休暇制度として、配偶者出産休暇は9人中7人が、育児参加休暇は9人中6人が取得しています。

(市長)

育児休業は0人だが、職場では是非休むよう言っています。男性職員は、家では家族をサポートしていると思うし、仕事を休みたくないという感覚があると思います。休んでいる間の仕事についてシステムとして解決していません。代替りの職員を増やし、父が育児休業を取り、母が仕事に出る構図を想像しづらい状況です。何が理想なのか、自信がありません。

(会員)

育児休暇を1年取ることにこだわる必要はないし、だれが取るかも家庭ごとにばらばら

でよいと思います。休暇に対して、周りの理解があれば助かります。職場で子どもがいる人は「ちゃんと定時で帰る」と意識が高まり、能力が上がっているのを感じます。育児も仕事も出来るように、自分で意識し、周りも応援するのが良いと思います。

**(会員)**

今の日本は結婚をしたがらない、子を産みたがらない傾向があります。少子化をどう考えていますか。

**(市長)**

人口は減少の時代に入っていると感じます。

日本は、父が誰か分かるかたちで出産する人が多いですが、フランスのように 50%しか父親を明らかにしない国もあります。

日本では婚姻関係があって出産に結び付くので、まず結婚することが大事だと思います。子の数が減少しているのは、政治的な課題ととらえています。

出産・子育てに関して安心のある地域にしたいと考え、保育料 3 人目無料や助産所の整備をしてきました。保健師や助産師が地域に出ていくことも大切だと思っていますので、この 10 月から保健師を 3 人増員し 7 人体制としました。

**(会員)**

女性が生きやすい環境の目安に、管理職の登用割合や男性の育児休暇取得率がありますが、形だけより昔みたいに保健師が地域を回る安心な東御市を PR してほしいです。

**(会員)**

市の助産所が赤字経営だと思い心配しています。子育てや男女共同参画に関することは赤字でも守って欲しいと思います。

**(市長)**

時代を取り込み、生活レベルを上げながら、市の財政を持たせることを考えています。小学校建物の延命化をしていきたいし、要望にも応えて行くため頑張りたいと思います。